

TimeTracker FX

【補足資料】

SQL Server 2005 インストール方法

2007 年 1 月

株式会社 デンソークリエイト

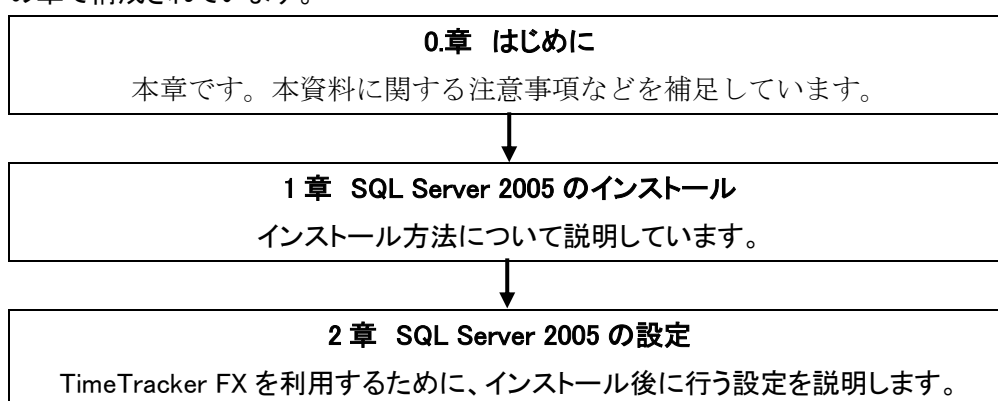
0. はじめに

本資料は、[TimeTracker FX セットアップガイド]では説明していない、Microsoft SQL Server 2005（以下 SQL Server 2005）の設定や操作方法を補足するためのものです。

SQL Server 2005 の機能や操作の詳細については、マイクロソフト社の Web サイトや市販書籍などをご覧ください。

0.1. 本資料の構成

以下の章で構成されています。




0.2. 用語の定義など


■ サーバマシン

TimeTracker FX および SQL Server 2005 をインストールするコンピュータです。


■ SQL Server 2005


データベースサーバです。本資料では、Standard Edition を想定しています。

 情報アイコン ... 補足情報や有用な情報について記載しています。

 注意アイコン ... 手順のなかで、特に注意して頂きたい部分について記載しています。

0.3. 注意事項など

 ご利用の環境によっては、本資料の手順と異なる場合がございます。予めご了承ください。

 TimeTracker V1.x は SQL Server 2005 での動作を保証しておりません。

※ このドキュメントに記載している情報（URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。

※ Microsoft、Windows または、その他マイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

※ その他、記載された社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

1. SQL Server 2005 のインストール

本章では SQL Server 2005 のインストール方法を説明します。

⚠ 本章の操作は、サーバーマシンの管理者権限をもったアカウントで操作してください。

1.1. SQL Server 2005 インストーラの起動と作業の選択

SQL Server 2005 のメディアをサーバーマシンにセットすると、自動でインストーラが起動します。

📘 自動で起動しない場合は、SQL Server 2005 のメディアから[splash.hta]を実行します。

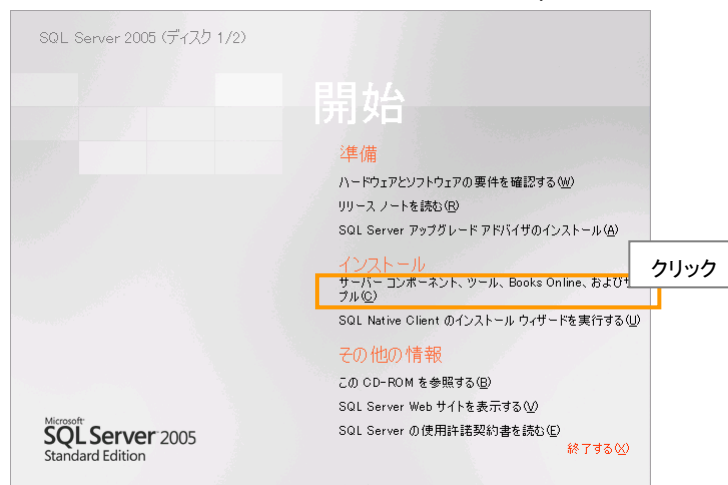


図 1. SQL Server 2005 インストーラ

[インストール サーバコンポーネント、ツール、Books Online、およびサンプル]をクリックします。

1.2. 使用許諾契約書の同意

使用許諾契約が表示されます。内容を確認して[使用許諾契約書に同意する]をチェックします。

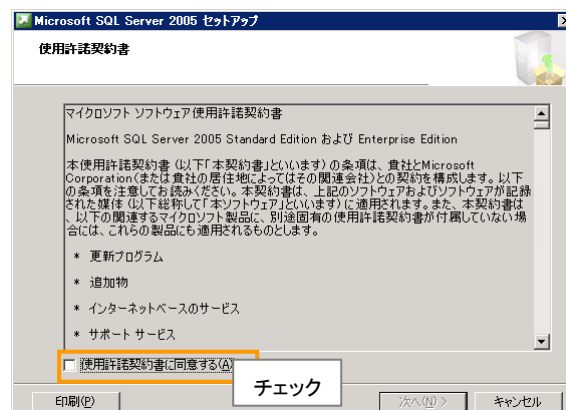


図 2. 使用許諾契約書

1.3. 必要なコンポーネントのインストール

SQL Server 2005 のインストールに必要なコンポーネントが表示されます。

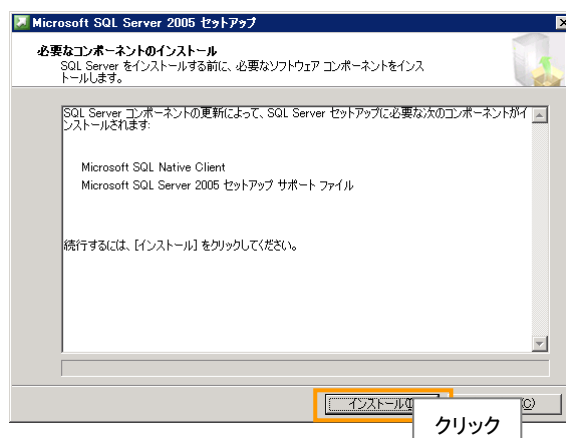


図 3. 必要なコンポーネント

[インストール] ボタンをクリックすると、コンポーネントのインストールを開始します。

1.4. 必要なコンポーネントのインストール結果の確認

コンポーネントのインストール結果が表示されます。

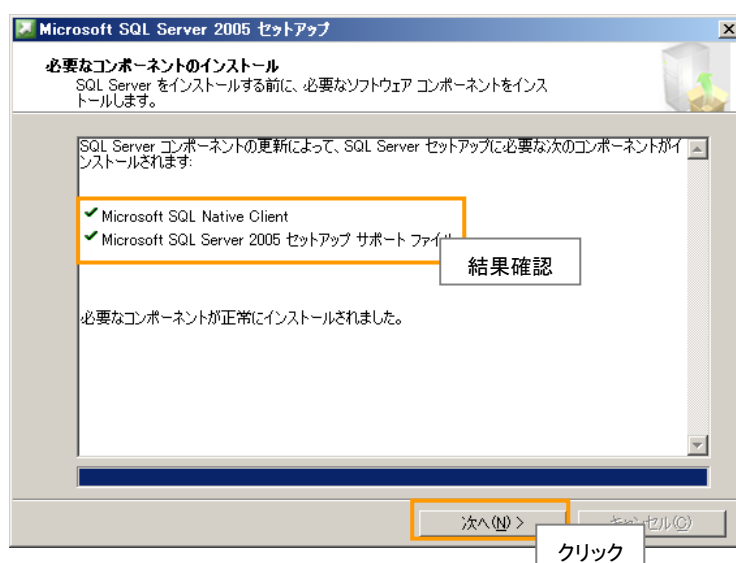


図 4. 必要なコンポーネントのインストール結果の確認

エラーがないことを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

1.5. Microsoft SQL Server インストールウィザード(ようこそページ)

Microsoft SQL Server インストールウィザードが開始します。

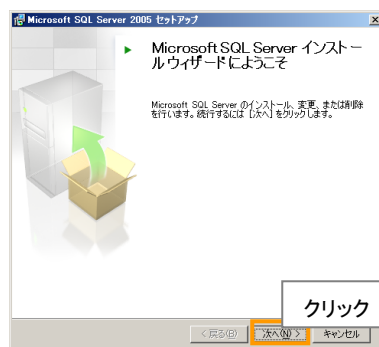


図 5. ようこそページ

[次へ]ボタンをクリックします。

1.6. システム構成チェックの結果確認

SQL Server 2005 をインストールするサーバーマシンがスキャンし、問題点がないかをチェックした結果が表示されます。

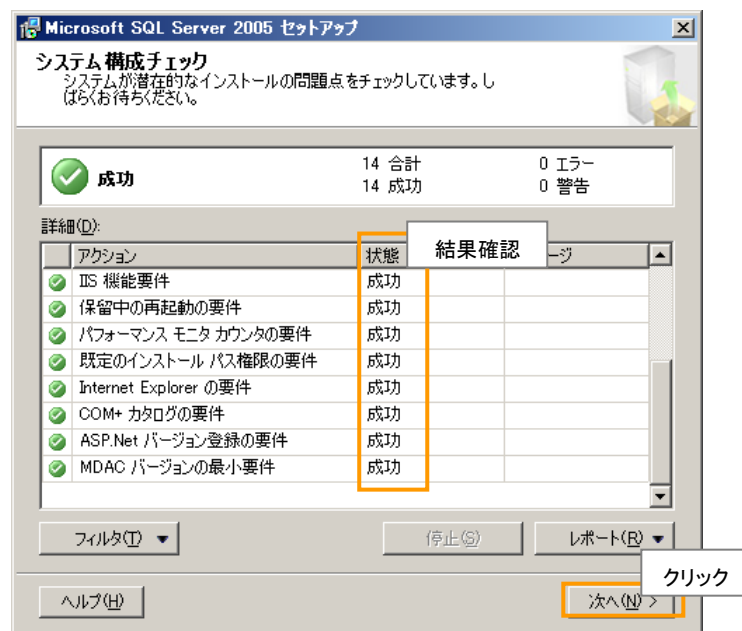


図 6. システム構成チェック

エラーや警告に問題がないことを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

- ⚠ TimeTracker FX では、IIS 機能要件がエラーまたは警告でも問題ありません。
- ⚠ データベースサービスが動作するための要件を満たしていることを確認してください。

1.7. 登録情報の入力

必要な登録情報を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

図 7. 登録者情報

1.8. インストールするコンポーネントの選択

インストールするコンポーネントを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

図 8. インストールするコンポーネント

- ⚠ [SQL Server データベース サービス]は必須です。
- ℹ [ワークステーションコンポーネント、Books Online、および開発ツール]をインストールすると SQL Server の管理に役立ちます。

1.9. インスタンス名の設定

インスタンス名を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

- ⚠ [名前付きインスタンス]を指定した場合は、設定した値をメモなどに記録してください。
- ⚠ 設定した値により、[データベース作成ウィザード]に設定するサーバ名が異なります。
- ℹ 通常は[既定のインスタンス]で問題ありません。
- ℹ インスタンスの詳細については、[ヘルプ]をご覧ください。

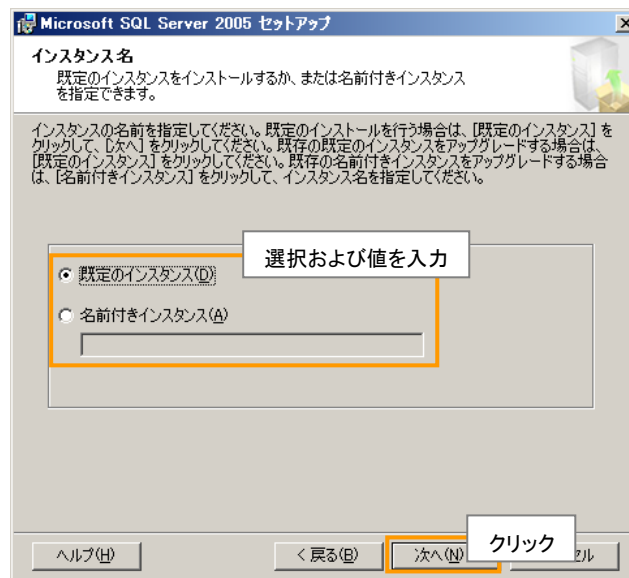


図 9. インスタンス名

- ℹ インスタンスの設定と、[データベース作成ウィザード]の設定値の関係は以下の通りです。

インスタンスの設定

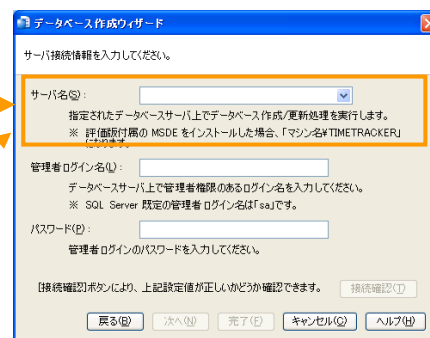
[データベース作成ウィザード]

■ 既定のインスタンスの場合

サーバマシン名を選択します。

■ 名前付きインスタンスの場合

サーバマシン名 + ￥ + 設定したインスタンス名を選択します。



1.10. サービスアカウントの設定

SQL Server 2005 のデータベースサービスのサービスアカウントを設定します。

- ④ TimeTracker FX で推奨する設定はありません。システム運用・管理のポリシーに従って設定してください。詳細は、[ヘルプ]をご覧ください。

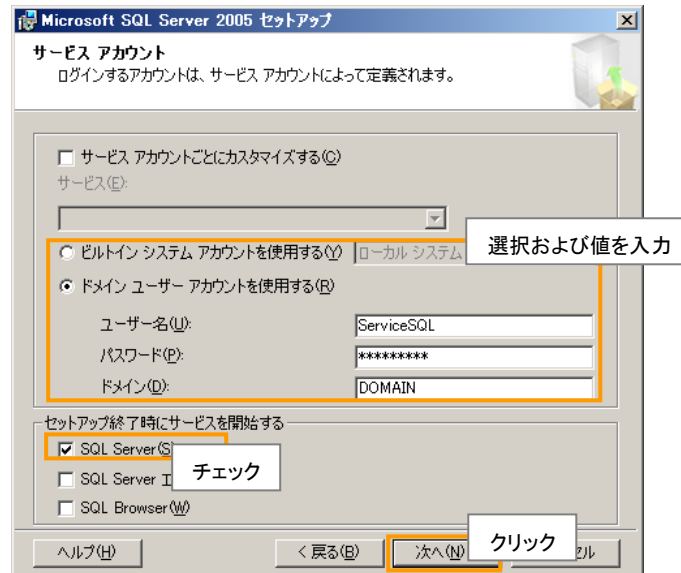


図 10. サービスアカウント

[セットアップ終了時にサービスを開始する]の[SQL Server]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

1.11. 認証モードの設定

[混合モード]を選択します。

- ⚠ TimeTracker FX は、[混合モード]で動作します。[Windows 認証モード]では動作しません。

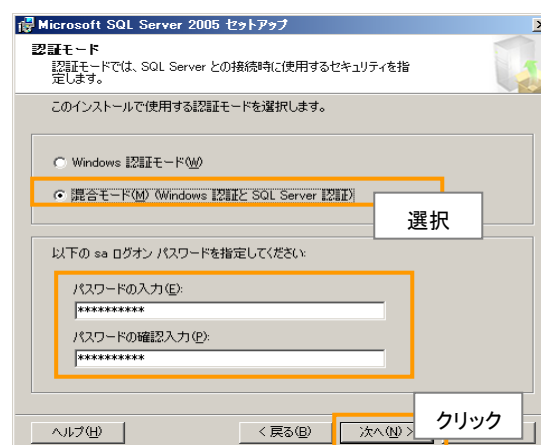


図 11. 認証モード

sa のログインパスワードを設定し、[次へ] ボタンをクリックします。

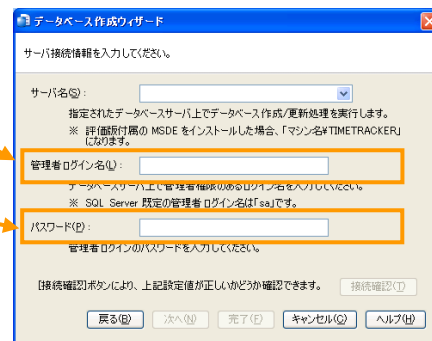
- ⚠ 設定したパスワードは、TimeTracker FX のインストールなどに使用します。
- ⚠ sa は SQL Server のシステム管理者です。パスワードの管理にはご注意ください。
- 📘 sa のパスワードは、[データベース作成ウィザード] の以下の画面で利用します。

認証モードの設定

[データベース作成ウィザード]

■ sa (管理者のログイン)

■ パスワード



1.12. 照合順序の設定

[照合順序指定子と並べ替え順序] を [Japanese] に設定し、[次へ] ボタンをクリックします。

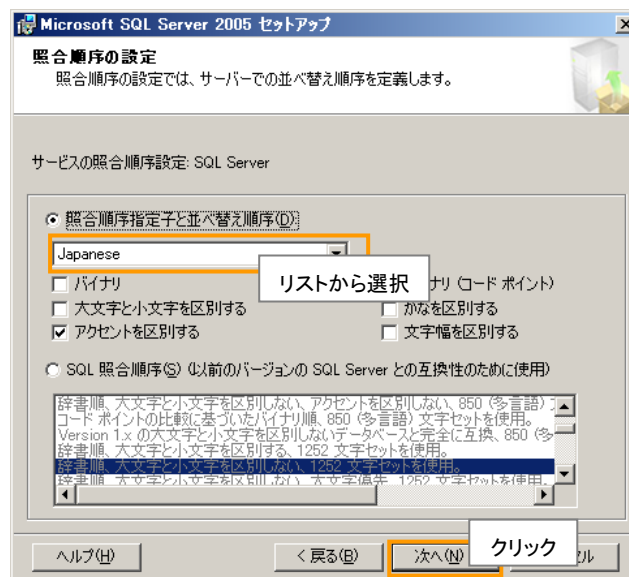


図 12. 照合順序の設定

1.13. エラーと使用状況レポートの設定

必要に応じてチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

- ④ TimeTracker FX の動作には影響しません。

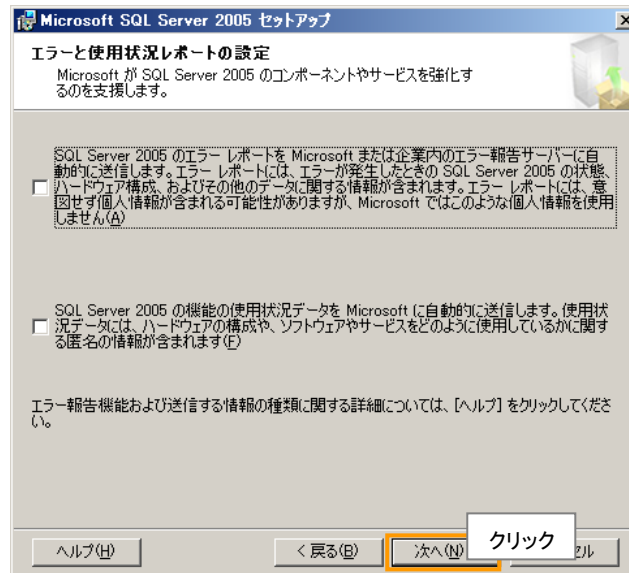


図 13. エラーと使用状況のレポート

1.14. インストール準備の完了

[インストール]ボタンをクリックすると、インストールが開始します。

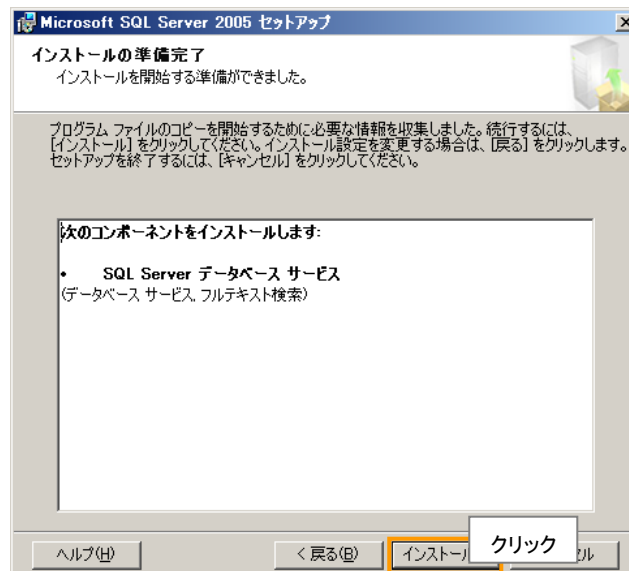


図 14. インストール準備の完了

1.15. セットアップの進行状況

インストールを開始すると、進捗状況が表示されます。完了するまで操作は不要です。

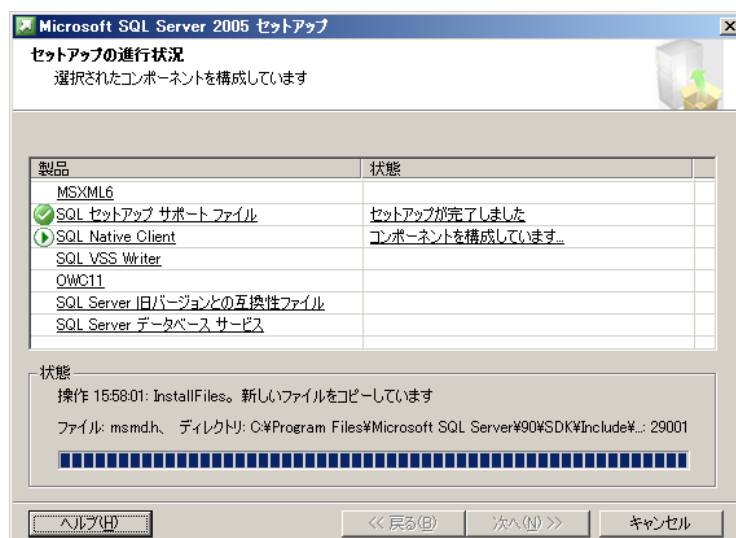


図 15. セットアップの進行状況

1.16. セットアップの進行状況(完了)

インストールが完了しましたら、[次へ]ボタンをクリックします。



図 16. セットアップの進行状況(完了)

1.17. セットアップの完了

[概要ログ]をクリックして、エラーや問題がないことを確認します。

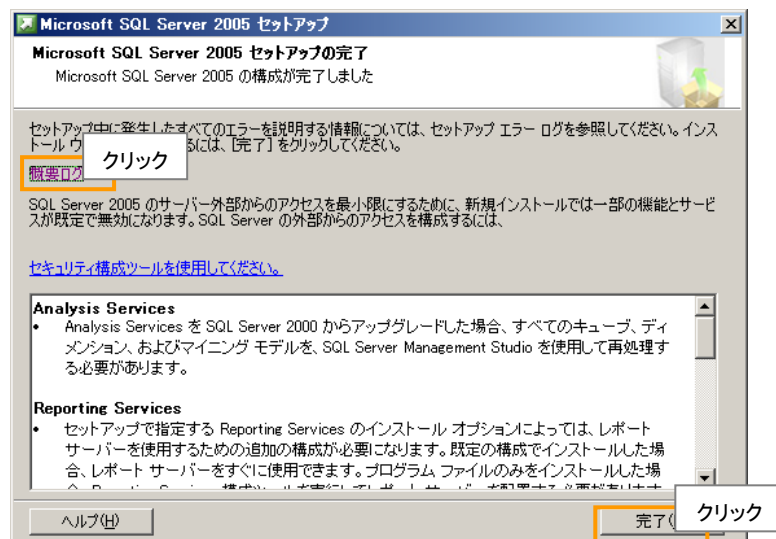


図 17. セットアップの完了

概要ログに問題がなければ、[完了]ボタンをクリックしてインストールを終了します。

1.18. サーバマシンの再起動

サーバマシンの再起動をするように表示された場合は、サーバマシンを再起動してください。

2. SQL Server 2005 の設定

SQL Server 2005 は、既定の状態では外部からのアクセスが一部制限されています。

本章では、TimeTracker FX からアクセスするためのネットワークプロトコルを有効にする方法を説明します。

2.1. SQL Server 構成マネージャの起動

Windows[スタート]メニューの[(すべての)プログラム]-[Microsoft SQL Server 2005]-[構成ツール]-[SQL Server 構成マネージャ]をクリックします。

2.2. ネットワークプロトコルの確認

[SQL Server 2005 ネットワークの構成]-[MSSQLSERVER のプロトコル]をクリックします。

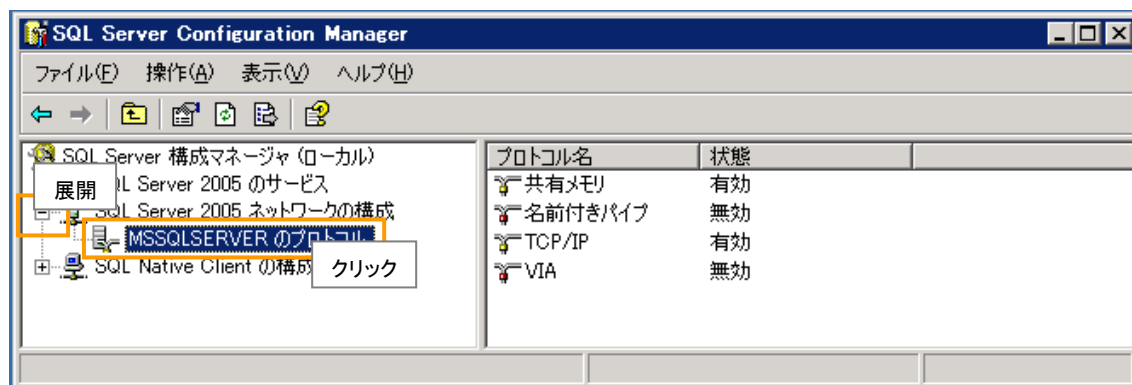


図 18. SQL Server 構成マネージャ

2.3. TCP/IP の有効化

TCP/IP が無効になっている場合は、TCP/IP を右クリックして[有効化]をクリックします。

- ④ TCP/IP が有効になっている場合は、本手順以降の操作は不要です。[SQL Server 構成マネージャ]を終了させてください。

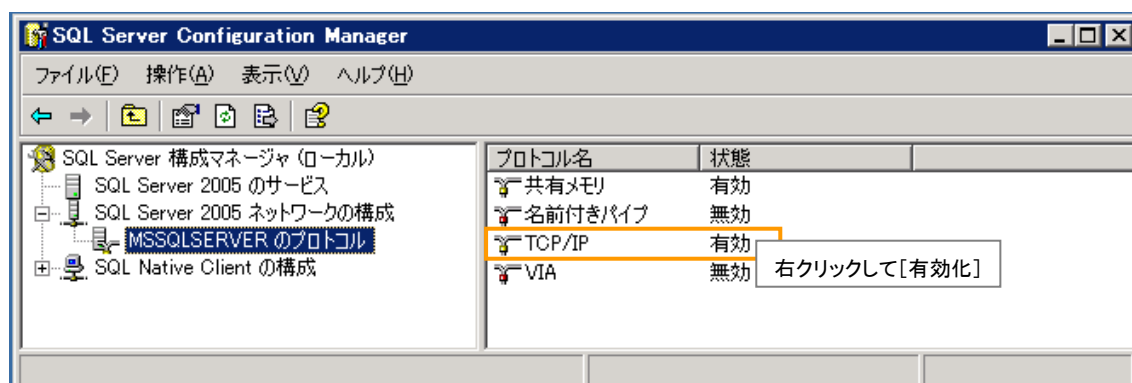


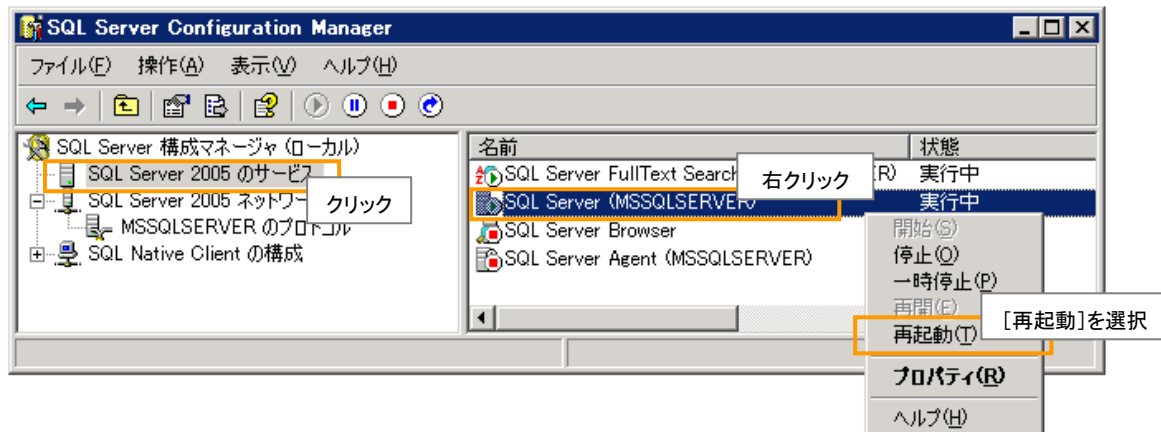
図 19. TCP/IP の有効化

2.4. SQL Server の再起動

[SQL Server 2005 のサービス]-[SQL Server (MSSQLSERVER)]を右クリックします。

[再起動]を選択すると、SQL Server が再起動し、TCP/IP が有効になります。

④ TCP/IP が有効になっている場合は、本手順以降の操作は不要です。



再起動が完了したら、[SQL Server 構成マネージャ]を終了させます。

以上で SQL Server 2005 の設定は終了です。

TimeTracker FX セットアップガイドをご参照いただき、TimeTracker FX のインストールおよびデータベースの作成を行ってください。

以上 ■